

海で働く特殊な船を見学できます！ ～名古屋港で作業船の一般公開を開催～

名古屋港湾事務所は全国浚渫業協会東海支部と共催で、平成 29 年 11 月 24 日(金)と 25 日(土)の 2 日間、名古屋港ガーデンふ頭において「海で働く船 船内見学会」を開催します。

両日とも、当事務所所属の浚渫兼油回収船「清龍丸」をはじめ、作業船 3 隻の船内をご覧いただけます。見学会は事前申込み不要・参加費無料ですので、お気軽にお越し下さい。

1. 概要

名古屋港は遠浅の港で、海底を深く掘る「浚渫」や、その土砂を使った「埋立」等の港湾整備により発展してきましたが、近年の船舶大型化に対応するため、更なる整備が不可欠となっています。しかし、これらの港湾整備は、人々の生活の場から遠く離れた場所で行われており、一般の方々が目にする機会は限られています。

この度、多くの方に港湾整備について知ってもらうため、現場で活躍する作業船 3 隻の一般公開を開催します。普段見ることが出来ない作業船の船内を見学することができますので、ぜひお越しください。

○見学会概要

日時：平成 29 年 11 月 24 日(金)、25 日(土) 10 時～14 時

場所：名古屋港ガーデンふ頭

備考：事前申込み不要／参加費無料

見学できる作業船：浚渫兼油回収船「清龍丸」

バージアンローダー船「P-8160 良成丸」

空気圧送船「KR3000」



浚渫兼油回収船
「清龍丸」



バージアンローダー船
「P-8160 良成丸」



空気圧送船
「KR3000」

○その他

- ・「海で働く船」特集として、11 月 21 日(火)～26 日(日)の期間は名古屋海洋博物館（名古屋港ポートビル内）にて作業船模型・パネル展示の開催も予定しております。
- ・詳細は別紙チラシをご参照ください。

2. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

3. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所

企画調整課長 三崎（みさき）、企画調整係長 前川（まえかわ）

TEL 052-651-6763 FAX 052-652-0303

海で働く船 船内見学会

◆海で活躍する3隻の作業船が大集合◆
普段はめったに見られない作業船が名古屋港にやってきます！

空気圧送船「KR3000」



パーシアンローダー船
「P-8160良成丸」



浚渫兼油回収船「清龍丸」

— 海で働く船 — 特集

船内見学会

日時：平成29年11月24日（金）、25日（土）
10時～14時【見学自由】

場所：名古屋港ガーデンふ頭

※船内には大きな段差等が多数ございます。
ハイヒールやサンダルでの乗船は危険を伴いますので、ご注意ください。

作業船模型・パネル展示

日時：平成29年11月21日（火）～26日（日）
9時30分～17時

場所：名古屋海洋博物館（名古屋港ポートビル内）
（名古屋市港区港町1番9号）

※船内見学会当日は、見学会会場にて入館券をお渡しします。

見学会と同時開催！



主催：中部地方整備局 名古屋港湾事務所
全国浚渫業協会東海支部

詳細は裏面へGO！



展示作業船紹介



浚渫兼油回収船「清龍丸」

- 全長 104m
幅 17.4m
役割 ①浚渫 : 航路・泊地を深く掘り下げる
②油回収 : 大量油流出時の油回収
③災害支援 : 災害時に防災拠点や緊急支援物資の運搬を行う



バージアンローダー船「P-8160 良成丸」 (国内最大のバージアンローダー船)

- 全長 60m
幅 15.0m
役割 水と浚渫土を混合し埋立地まで排送する



空気圧送船「KR3000」

- 全長 60m
幅 31.0m
役割 圧縮空気の力により、浚渫土を埋立地へ排送する

しゅんせつ

浚渫とは・・・

海底の土を掘ることです。

港の水深が足りないと船が座礁する恐れがあるため、十分な深さの航路や泊地を整備する必要があります。

開催場所

公共交通機関でのアクセス

- ①地下鉄名港線「名古屋港駅」下車
3番出口より徒歩約7分
- ②あおなみ線「稲永駅」下車
名古屋市営バス幹築地1（名古屋港行）で約16分
バス停「名古屋港」より徒歩約9分

※お車でのご越しの方はガーデンふ頭駐車場をご利用ください



問い合わせ：中部地方整備局名古屋港湾事務所 052-651-6763
全国浚渫業協会東海支部 052-691-7060